

みなみのさかい

2025
(令和7年)
5月1日
No.70

～子ども習字教室～

主な内容

3月定例会	P2
一般質問	P4
つぶやき広場	P11
委員会活動報告	P12
みんなでやっとなるで～ほか	P14

 南伊勢町議会だより

重点事業と注目ポイント

3月3日から17日までの日程で、令和7年第1回議会定例会が開催されました。
補正予算案7件、当初予算案7件、条例案23件、その他の議案4件、同意14件、諮問1件の合わせて56件です。

また、各常任委員会に付託された令和7年度当初予算案は、委員長報告を受け、可決となりました。

案件については、すべて原案通り可決、承認されました。

一般質問では、6名の議員が質問を行いました。

**令和7年度 当初予算（一般会計）は、前年度対比 3,035万5千円増
118億515万9千円 (0.3%増)**

歳入予算の主な増減

町税は約6,400万円の増、地方交付税は8,000万円の増、国庫支出金は約2億4,000万円の増、町債は約3億4,400万円の減となりました。

●歳出予算の主なもの

ハード面

南島地区の小中学校統廃合推進事業に約10億6,100万円、避難場所整備事業に2億600万円、方座浦及び古和浦地区のコミュニティセンター建設事業に約1億9,800万円、道路改良・維持工事に約4億8,400万円を計上しました。

ソフト面

南伊勢町制20周年記念事業に200万円、温暖化防止対策推進事業に約1,100万円、買い物不便・困難者対策事業に1,200万円、全国豊かな海づくり大会推進事業に約660万円を計上しました。

令和7年度の主な事業を紹介します

課 名	事業名	事業概要	事業費(円)
水産農林課	全国豊かな海づくり大会推進事業	宿田曾漁港を会場に実施の「全国豊かな海づくり大会」の成功に向け、100日前イベントや1ヶ月前イベントの開催などを実施します。	657万
環境生活課	温暖化防止対策推進事業	脱炭素化をさらに進めるため、令和7年度は「南伊勢町ゼロカーボンシティ推進計画」の策定と並行し、二酸化炭素吸収固定化対策（ブルーカーボン）について大学等の専門機関と連携して取り組みます。	1,120万
子育て・福祉課	予防接種事業	高齢者の定期接種として、インフルエンザ、肺炎球菌、新型コロナに加え、带状疱疹ワクチンを接種したとき、費用の一部を助成します。また、50歳以上の方の任意接種として带状疱疹ワクチンを接種したときその費用の一部を助成します。	2,661万
まちづくり推進課	みなみいせまつり事業	まちの一体感の醸成を目的に、特産品や産業、地域の伝統文化を伝える場作りとともに、子どもから高齢者まで楽しめるまつりを実施します。	1,000万

安 全・安心な場所へ



神前浦地区の津波避難タワー及び相賀浦地区の避難場所整備の設計費と一次避難場所の工事費など避難場所の充実を図ります。

避難場所整備事業
2億600万円

令 和9年度の開校予定



南島地区の小中学校の統廃合事業を実施します。南島中学校の敷地に集約されます。

**小中学校統廃合
推進事業**
10億6085万円

海岸漂着物等処理事業

931万円

漁業者等がボランティアにより集めた海岸漂着物について、三重県海岸漂着物等対策事業補助金を活用し、処分を行っていきます。



介護予防推進事業

457万円

集落支援員制度を活用し、元気づくりマネージャーによる介護予防事業を実施し、地域の高齢者の元気づくりを支援します。



あなたの声を町政に!!

一般質問



議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をただし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
岡 本 眞	① 町長施政方針について ② 防災フェスタ2025について ③ 今後の防災対策について	5
松 葉 和 久	① 猿の被害対策について	6
岡 田 和 夫	① 抗生剤投与のための住民の移送サービスができないか ② 大規模災害時にサニー道路で崩落や決壊が起こらないための対策を ③ 二次避難施設での避難所運営について準備しておくことについて	7
掛 橋 靖	① 将来を見据えたまちづくりとは ② 直近の当町に必要な生活支援対策とは	8
倉 田 育	① 感染症対策と就労支援について。病児病後児保育サービス事業の検討を ② 民生委員・児童委員の活動サポート強化と、物価高騰対策・担い手の確保について	9
田 岡 悟	① 令和7年度当初予算の編成方針について	10

3月定例会における傍聴者の総数

3 名 (内メディア関係者数 3名)

次回定例議会 (予定)

議会を傍聴しませんか

6月議会

令和7年6月17日～6月20日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会で会議録に基づいて編集、要約しています。
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。(TEL 0599-66-1781)



おかもと まこと 眞 議員

観光のあり方は

町長 心に残る場所になること

Q 町長の施政方針に、本町の観光のあり方として「量ではなく質」を重視し「ここでしか体験できない価値」を提供することが大切とあるが、町長の夢は。

そのためには、本町ならではの特色を活かした「体験型観光」の充実が重要だと考えている。
訪れる人々にとって「ここに来てよかった」と心から感じてもらえる場となること、そして観光産業が地域の活力となり、町民の皆さんにとっても誇れる産業となることが、私の描く未来の姿です。

A 町長 本町の観光がただ「訪れる場所」ではなく、訪れる人々にとって忘れられない体験を提供できる場所、また、心に残る場所になることを願っている。



ここに残る場所へ

防災フェスタ2025は

町長 防災意識・知識の向上を



ひとりひとりが大きな成果

Q 防災フェスタでは、参加される方が楽しみながら学ぶ工夫が随所に見られ災害に備える町民の知識と意欲が高まっている。

防災フェスタ2025の町長の総括は。

A 町長 防災フェスタは防災意識を高めるために有効な取組の一つであり、子どもから大人まで楽しみながら防災についてしっかり学べるように令和4年度から今までに6回開催してきた。

これまでは、語り部や講師を招いての防災講演会を実施してきたが、今年は能登半島地震の支援活動に派遣された町職員26名の声をもとに町民の皆さまと共有したいとの思いで報告会を開催した。

派遣職員からは、住民主体での避難所運営の大切さや、避難生活における地域のコミュニティの大切さなどの気づきが大きな成果であったとの報告であった。今後も創意工夫を図りながら継続して防災イベントを開催していきたい。

サルの被害対策は

町長 大型捕獲檻の増設



まつば かず ひさ
松葉和久 議員



サルに勝るには

Q

数年前から、特に収穫前の野菜・果樹・稲等がサルにより取られる被害が多く聞かれる。

行政はこの農作物の被害を起こすサルの生息域や、群れの規模、活動範囲の調査をしていると思うが、その調査結果を伺いたい。その調査結果に沿って檻を設置するものだと考えるが、行政の考えは。

また、サルの餌付けのやり方は。

A

町長 サルによる農作物への被害や生活

圏への影響が顕著となっている。農家の皆さまにとっては経済的な打撃が大きく、また、町民の皆さまからも生活への不安の声が寄せられており、町としてもこれを重く受け止めている。



三重県農業研究所と連携し、サルの生息状況について調査を実施している。これまでの調査により、町内に生息するサルの群れは11群れ・約570頭と推定されている。

町では、サルの被害が特に深刻な地域を優先し、捕獲用の大型檻を6基設置している。

檻の設置にあたっては、サルの餌付け方法や設置方法について専門家の意見を踏まえ、地区と連携しながら運用を進めている。

令和7年度当初予算において、大型捕獲檻の増設や鳥獣害対策アドバイザーの費用を予算計上した。さらに、県事業としてサルのルートセンサス調査を実施する。

今後も猟友会や県と連携し、獣害を防ぐ体制を強化するとともに、住民の皆さまと協力しながら、地域全体で獣害対策に取り組んでいく。



おか だ かず お
岡 田 和 夫 議員

大規模災害時の対策は

町長 未然防止・早期発見・早期措置

Q 昨年のサニード道路の崩落事故は、数ヶ月の復旧を要する被害状況となった。

崩落事故の後、町長は三重県に対してどのような要望をしたのか。

A 町長 発生直後に三重県とともに現場で立会い、一日も早い復旧、通行止めの解除を要望した。

7月には玉城町長、度会町長、伊勢市副市長と私で

三重県庁を訪れ、副知事、県土整備部長、総務部長、伊勢建設事務所長、関係課長と面談し、法面崩落箇所早期復旧、全線の法面点検の実施、危険箇所の早期措置、必要な財源の確保などについて要望活動を行った。これを受けて県も全線の点検を実施した。

台風や大雨の際には危険箇所の状態を確認し、県と密接に情報連携するなどして、崩落等の未然防止と早期発見、早期措置、また万一の事態へのいち早い対応に備えている。



未然に防ぐ

二次避難所運営の準備は

町長 避難所運営マニュアルの活用

Q 大規模災害で家を失った時、住民は二次避難所でのような行動をすればよいかわからない。

避難所で住民は何をすればよいのか、学校を二次避難所としている大規模な避難所での避難所運営は。

A 町長 二次避難所は、町、施設管理者、避難者の三者が協力して開設・運営を行うのが基本的な考えである。

大規模かつ突発的な災害に際しては、避難者自ら自主的に運営し、行政は後方



自助・共助・公助

支援的な役割を担う。避難所では運営組織の立ち上げ、避難者の管理、物資の供給、衛生管理や避難所での生活ルールづくりなど避難者の皆さままで行っていくことになる。

町は、混乱なく避難所の運営をするための手順を示す「南伊勢町避難所運営マニュアル」を作成し、地区に配布している。

学校など大規模な二次避難所については、地区、学校関係者、行政とで役割分担を明確にし、地区による避難所開設・運営訓練などの実施についても進めていきたい。

将来を見据えたまちづくりは

町長 政策間連携をさらに強める



かけはしやすし
掛橋靖 議員



～深めよう地域との絆～

Q 課題が山積する中で、持続可能な地域社会を形成することが求められている。

将来を見据えたまちづくりについて、更なる高みを求めるとしたら、新たにどの分野、どの領域での充実に目指すのか。

A 町長 「まちづくりは、1つの政策、1つの政策で実現しうるものではない」と、いつも

言っているが、オール南伊勢のまちづくりのもと、政策の5つの柱を着実に実行することがその実現につながるものだと考える。

さらなる高みを目指していくためには、いまも行っているが、5つの柱の政策間連携をさらに強め、相乗効果を強めていくことが大切であると考えている。町として有利な財源を活用しながら持続可能なまちづくりを進めていく。

買い物環境整備は

町長 実効性のある体制づくり



スーパー横のバス停は好評♪

Q 当町独自の高齢者生活支援対策について、生活に直結した持続可能な公共交通モデルの構築と、身近な買い物環境整備が急務と考えるが、具体的な対策は。

A 町長 移動手段の確保は生活の質に直結する重要な問題である。さらに商店の廃業等も相まって「買い物難民」の増加が懸念されることから、総合政策として買い物支援・困難対策プロジェクトに取り組んでいる。

買い物環境の整備については、地域商店への支援として、6年度から買い物不便困難者対策事業補助制度を創設し、サポート体制を強化した。今後も住民の皆さまが安心して暮らせる生活環境を整えていく。

公共交通について、広く住民の皆さまの声を聴くために、住民代表、関係機関などから構成されている地域公共交通会議を年に複数回開催している。この会議を踏まえ、より実効性のある体制づくりを進めている。交通施策については、新たな事業展開も模索していく。



くらた いく 倉田 育 議員



早く回復するように



地域福祉をサポート

病児病後児保育は

町長

定住自立圏での利用

Q

近年は暖かい季節でもコロナウイルスをはじめ多種多様の感染症にかかることが増えてきている。町内でも子どもたちを受け入れできる病児病後児保育サービスを整備していく必要があると考える。

A

町長 町内保育園での感染者数は、

新型コロナウイルス感染症令和4年度は47人、5年度24人、6年度9人と減少傾向にあるが、インフルエンザの感染者数は4年度3人、5年度27人、6年度36人と増加している。また、6年度には全国的に大流行した手足口病の感染者数が94名と急増した。

町内においては、定住自立圏として、伊勢市内の小児科併設の施設が利用できる環境となっている。

町立病院には小児科が設置されているが、小児科医は常駐ではなく、病児・病後児保育を開始できる環境ではないと考えるが、必要な人に必要なサービスを適切に提案できるよう体制を整えていく。

Q

民生委員・児童委員は、社会福祉に

関し、住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行い社会福祉の増進に努めており、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」として重要な役割を果たしている。

町内の民生委員・児童委員の委嘱数と充足率の推移と町内での担い手の確保と活動しやすい環境整備の考えは。

A

町長 民生委員・児童委員の定数は

60名となっており、現在の欠員は3名となっている。当町での担い手確保は、三重県の選任要領では75歳未満の方を選任するように努めるとなっているが、人口減少・高齢化の進む当町では、地域の実情に合わせている。また、国からの補助と合わせて、町単の活動補助の上乗せを行っている。

民生・児童委員の活動サポートは

町長

活動補助の上乗せ

令和7年度は民生委員・児童委員の改選になるが、各区からの推薦がスムーズに行えるようにしていく。

活動しやすい環境づくりとして、民生委員・児童委員の皆さまが相談しやすい関係を役場と社会福祉協議会で引き続き築いていきたいと考えている。

予算編成方針は

町長 革新的な取組を推進



た おか さとる
田岡 悟 議員



避難路整備予定地を視察（相賀浦）

算の適正配分を行っている。

優先度を熟慮し、予算の適正配分を行っている。

A 町長 予算編成方針について、基本は総合計画に掲げる5つの柱と、プラス「買い物不便・困難対策プロジェクト」として各課で横断的に

Q 令和7年度当初予算の編成方針について、3月3日「第一回南伊勢町定例会」において町長の施政方針が示されたが、予算の編成方針・重点施策と予算配分の適正性は。

取り組む。これらを重点的な施策として推進するため、既存事業を点検、修正するとともに、革新的な取組を推進するよう要請している。また、南伊勢町地域強靱化計画における施策プログラムとの反映、SDGsの考え方の反映、デジタル技術の取り入れ、特別会計及び企業会計の独立採算性の確保などを施策の推進方針としている。



大会は11月9日開催

みんなの声



つぶやき広場



いつになってもわすれない♪

今年は南伊勢町となって20周年だと聞き、南勢町と南島町が合併して、もうそんなになるのかと感慨深くなります。

海づくり大会が行われるし、良い思い出の1つになる年になってほしい。

(60代女性)



外は雨でした

「応募用紙を頂けませんか、と窓口の職員さんへ告げるとビニールのファイルを一枚渡してくれました。

後で出して下さった応募用紙を雨で濡らさないための気配りだったのです。この町が大好きです！

(80代男性)



この町へ移住して23年

「この町へ移住して良かったネ、が私達夫婦の口グセになっています。

年間の平均気温は、15.5度（平成24年津気象台のデータ）剣峠を越えれば伊勢神宮です。豊かな海・山の幸。こんな良い町はないでしょう！

この町が大好きです。

(80代男性)



小さな出来事

朝の通勤途中、小学生が「おはようございます！」と元気に挨拶してくれました。地域の未来、明るいですね。

(40代男性)



地域の歴史

「昔はここに映画館があってね・・・」と話してくれたおばあちゃん。何気ない会話から、町の歴史を教えてもらった気がします。

(30代女性)

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^ ^)/ みんなでつぶやきましょう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

◆ 委員会活動報告 ◆

より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています。



◆ 令和7年1月20日
社会福祉法人南勢かえで
福祉会 移転先視察
● 場所 旧穂原保育園跡地

活動報告

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険・町税などの調査や審査を担当しています。

◆ 令和7年2月17日
協議事項

● 令和7年度の取組について

◆ 令和7年3月7日、10日

調査事項

● 令和7年度当初予算審査
を行いました。



委員会 組織構成

委員長	田中 喜一郎
副委員長	山本 克彦
委員	岡田 和夫
	東 伊久雄
	掛橋 靖
	河村 健志

活動報告

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

◆ 令和7年1月8日
協議事項

● 予算審議日程や町内視察
について協議しました。

◆ 令和7年1月15日

調査事項

● 防災安全課所管

● 潮位カメラ設置事業について調査しました。

● 管財契約課所管

● 旧町立病院解体現場について視察、調査しました。

◆ 令和7年2月20日

調査事項

● まちづくり推進課所管

● 新エネルギー活用事業と
地域貢献について視察、
調査しました。

◆ 令和7年3月7日、10日
調査事項

● 令和7年度当初予算審査
を行いました。



委員会 組織構成

委員長	岡本 眞
副委員長	上村 直美
委員	松葉 和久
	倉田 育
	森 源久
	田岡 悟

議員視察研修報告

令和6年11月27日～29日に福岡県、熊本県において、議員視察を行いました。

福岡県田川郡福智町では、令和5年度に50億円以上のふるさと納税の寄付を集めた実績があり、どのように取り組まれたのかを研修しました。

当町でも今年度より民間業者の力を借りて、取組を強化していきます。



熊本県球磨郡錦町では、子育て支援について説明を受けました。

錦町は熊本県の中央に位置し、子育て支援や移住定住への取組も強化しているため、人口増加につながっています。



熊本県上益城郡益城町では、熊本地震について説明を受けました。

震度7を2回経験されましたが、それでも復興された街並みは、町民の方の助け合いやアイデアが随所に活かされていました。



町内視察

3月5日、議員全員で現地視察を行いました。

●相賀浦地区避難道整備事業の予定地を視察。

●近鉄グループホールディングスとの協定によるアワビ養殖事業の進捗状況を視察。

●南島地区小中学校統合に伴う小中学校校舎建設事業の進捗状況を視察。



みんなでやつとるで～



＊ ＊ 子ども習字教室 ＊ ＊

文字、書は、自身の性格、または、今の気持ちを表現するともいわれます。
文字の正しい書き方を学んでみませんか。

ご参加をお待ちしております。（※ 対象は小学校2年生からです）

＊日 時 月2回 土曜日 午後1時30分～午後3時

＊場 所 切原教育集会所（切原） ＊会 費 月1,000円（教材費）

〈お問い合わせ先〉 愛洲の館（南伊勢町教育委員会） ☎0599-66-2440



議会広報特別委員会 研修報告

令和7年1月21日に、奈良県北葛城郡王寺町役場にて、議会広報紙の研修をしました。

王寺町の議会広報紙は、令和5年度にリニューアルし、2年連続で全国10位に入選するなど、工夫・改善に取り組まれています。

当町でも町民の皆さまにわかりやすく読んでいただける広報紙を目指し、学んだことを活かしていきたくと考えています。



議長 東 伊久雄

議会広報特別委員会

委員長	田 岡
副委員長	森 源
委員	倉 本
委員	山 直
委員	村 彦
委員	美 久

編集後記

新しい年度、令和7年度が4月より始まりました。学校への入学、または、就職された方などは様々な環境下での新生活を迎えることになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今年度には、参議院議員選挙、県知事、及び、町長の選挙が行われます。

南伊勢町をより良き、住みやすい街にするには、どのようにすればいいのか。今後とも、住民の皆さまが幸福となるように、議会議員一同、精進してまいります。



（森）

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局まで、ご連絡下さい。

☎ 0599(66) 1781
FAX 0599(66) 2164